

2011 年

6月5日(日曜日) 被災地復興への祈りを鳴き砂とコンサートの音色に重ねて！ - はだしのコンサート -

本日、琴引浜において「はだしのコンサート」が開催されました。

琴引浜は、平成9年1月のナホトカ号重油流出事故の際に、全国から12,700名にも
のぼるボランティアの方々が駆けつけてくださって、重油かき・浜清掃などの作業に
尽くしていただきました。この浜が再び、美しい鳴り音を奏でてくれるようになったのも、
全国各地からのこうした多くの皆様の真心とご支援の賜でありますし、昨年には琴引浜
を含む山陰海岸が世界ジオパークに認定され今にちこの浜が象徴的なジオスポットと
なっていますのも、ひいては当時のご支援が貴重な礎になっています。

今般の東日本大震災により、東北の青森県から福島県にかけての太平洋側にある多く
の鳴き砂の浜も被害を受けました。しかしながら、気仙沼の十八鳴浜（くぐなりはま）
や九九鳴き浜においては、表面を大量の瓦礫に覆われながらも、鳴き砂は健在であった
とのことであり、人の命と生活が何より第一であることはもとよりですが、このことは
私たちにも感動を与えてくれました。陸前高田の2km以上続く高田松原は大津波の直
撃を受けましたが、一本松が大津波に耐えきって毅然として踏ん張り立っており、復興
への気概を示すシンボルのようであります。頑張れ！一本松。私たち、鳴き砂や松原の
仲間としても、できうる限りの支援を尽くしたい。

今日は、はだしのコンサート。被災地の復興への皆の真剣な祈りを、鳴き砂とコンサ
ートの音色に重ねて込めて、被災地に、そして広く日本中、世界中に届けていきたい。